



2022年5月12日

各 位

本社所在地 東京都新宿区北新宿二丁目 21 番 1 号
会 社 名 RIZAP グループ株式会社
代 表 者 代表取締役社長 瀬 戸 健
コード番号 2928 札幌証券取引所アンビシャス
問 合 せ 先 取締役 鎌 谷 賢 之
電 話 番 号 03-5337-1337
U R L <https://www.rizapgroup.com/>

「継続企業の前提に関する重要事象等」の解消に関するお知らせ

当社は、本日公表の「2022年3月期決算短信〔IFRS〕(連結)」において、「継続企業の前提に関する重要事象等」の記載を解消いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

当社グループは、2019年3月期に構造改革を開始し、主に在庫や不採算事業の減損に係る構造改革関連費用を含む非経常的損失が発生したことから、営業損失および親会社の所有者に帰属する当期損失を計上いたしました。また、2020年3月期は主に新型コロナウイルス感染拡大等の影響があったことから、2期連続となる営業損失および親会社の所有者に帰属する当期損失を計上いたしました。これにより、金融機関との間で締結した金銭消費貸借契約における財務制限条項に抵触している状況にあることから、2019年3月期決算短信より、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような事象等が存在する旨を記載しており、その後、2020年3月期および2021年3月期の決算短信においてもその旨の記載を行ってまいりました。

一方、当社グループは、新型コロナウイルス感染症拡大により不透明な経営状況が続く中、グループ機能統合プロジェクト「ONE RIZAP」の方針の下、新たな収益の柱としてのEC事業の成長、グループ横断的なコスト最適化などの経営合理化策を実行した結果、収益構造が大きく改善し、2021年3月期決算では、営業利益および親会社の所有者に帰属する当期利益において3年ぶりの黒字化を達成し、2022年3月期も同様に、営業利益および親会社の所有者に帰属する当期利益において2年連続の黒字化を達成しております。これら当社グループの収益が改善し黒字化を達成していること、安定的な財務基盤が構築できている点を鑑み、金融機関との間で締結している重要な借入金における金銭消費貸借契約において、財務制限条項に抵触していた状態は、現在解消されております。

これらの状況から、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせる事象又は状況は現時点において存在しないものと判断し、「継続企業の前提に関する重要事象等」の記載を解消しております。

株主の皆様、取引先をはじめとするステークホルダーの皆様には、大変ご心配をおかけいたしました。今後もさらなる企業価値の向上に努め、世界中の人々の自己実現に貢献するNo.1企業グループを目指して挑戦を続けてまいりますので、引き続きご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

以 上